

道 徳 学 習 指 導 案

日時：平成17年7月13日（水）4校時

学校：仁木町立仁木中学校

学級：1年A組

（男子13名 女子10名 計23名）

指導者：教諭 松田義章

1. 主題名：「言ってみよう！～主張性、主体的な自己表現～」

2. 内容項目：1－(5) 自己の理解、自己の向上

3. 主題設定の理由：

(1) 学級の生活などで、「どうもA君の言い方は相手を怒らせてしまうことが多い。」

とか、「ものごとをはっきり言いたい、相手の反応がこわくてどう答えてよいかわからず、結局、あいまいに、何も言わずにすましてしまう。」というような場面をよく見かける。その結果、言いたいことが言えずにフラストレーションがたまっていったり、時には「きれてしまう」こともある。そこで求められるのが、相手の人格を尊重しながら自分の気持ちを素直に伝えることを学ばせていくということではないだろうか。

本当に伝えたいのは相手の欠点ではなく、自分の気持ちや感情であり、これを主体的に表現するとき、「私は～と思う」という形になる。

(2) そこで、人間関係の円滑化を図るために、自分の表現活動の特徴に気づかせるとともに、相手に自分の気持ちを伝え、互いの関係を損なわずに相手の考えの間違っているところを正していくような自己表現（アサーティブネス「主体的対応」）について知り、その使い方について考えてもらうための第一歩として本主題を設定した。

4. 生徒の実態：

本学級の生徒は、入学直後には、お互いの言動の様子をさぐることでけん制し、それぞれが自己規制してしまうという面が強かった。しかし、最近はその雰囲気も和らぎつつある。また、人なつこく、活発で屈託がない態度も見られるようになってきた。ただし、1年生とはいえ、行動や態度が子どもじみている、ややけじめを欠いた言動や無責任な言動が見られるときもある。また、自己を主張せず、その場の雰囲気に受動的に流されてしまうといった傾向や、一部に、他人の言動や失敗に相手の気持ちを考えずに無遠慮な批判をしてしまうということも、しばしばうかがえる。それが学級の個々の人間関係や、学級全体の雰囲気の形成に微妙な影響を与えているという実態がある。

これらの諸問題の克服のため、まず、円滑な人間関係の形成のための方策を講じる必要もあり、その一つの手だてとして、アサーティブネス（主体的対応）について考えさせることにした。

5. 研究仮説との関わり：

(1) 教材や資料の工夫等

まず、人間関係上における自己の表現の特性を見つめさせ、その上で、「受け身的」でも「攻撃的」でもない第3の表現方法として、相手の価値観や人格を犯さない自己表現である、「アサーティブネス（主体的対応）」について示し、考えさせるため、「教育技術 MOOK」の授業実践プランの資料を一部参考にし、活用した。

(2) 評価方法の工夫等

ワークシートを活用し、自ら考えて記録した「自分の表現や感想」をもとに、それらを随時、発表したり、簡易な劇形式で演じることにより、各生徒に多様な考えや表現があることを気づかせたい。また、できれば、自己理解や相互理解を通じて、他に配慮しつつ自己の主体的な表現活動の実践にもアプローチしていきたい。

なお、これらのことを、主にワークシートの記録や観察法によって評価にアプローチを試みたい。

6. 本時の目標：

自分の表現方法の特徴に気づくとともに、人に対する対応の表現にはいろいろなものがあるということをもとに3つの対応のパターンをもとに考えさせ、「主体的な対応」というものがあることを再認識させる。

7. 展開：

	教師の関わり (主な発問と生徒への支援)	生徒の活動	留意事項・評価等
導入	<ul style="list-style-type: none"> * 本時のテーマの確認。 「言ってみよう！」板書 * 資料を配布し、範読する。 		
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 発問①「あなたなら、ひろし君に何と言いますか？」 </div> <ul style="list-style-type: none"> * ワークシートAを配布 指示：ワークシートAへの記入 * 数人に意見を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 指示A「ひろし君に3通りの言い方をしてみます。聞いて感じたことを記録しよう。」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> * 資料の文を読むのを聞いて、自分ならどのように対応するか考え、ワークシートAに書く。 * 指名されたら、自分の意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の意見を書くことや発表することができたか。
開	<ul style="list-style-type: none"> * ひろし君に対する「受け身的な対応」、「攻撃的な対応」、「主体的な対応」の言葉をそれぞれ例示 		

終	* ワークシートDの配布 * 指示：ワークシートへの感想の記入を指示。		* いろいろな言い方によって感じ方が違うことを実感できたか。
末	説明：「主体的な表現」とは？	* 「主体的な表現」についての説明を聞く。	

8. 評価：

- (1) これまでの自分の言い方（表現）について、ふり返ることができたか。
- (2) 「受け身的な言い方」や「攻撃的な言い方」の他に、「主体的な言い方」（アサーティブネス）があることを感じとったり、関心をもつことができたか。

9. 板書計画

「言ってみよう！」

自分なら何というか？	3通りの言い方	感想	どれに近い？
------------	---------	----	--------

① ああいいよ

② うるせえな、おまえはずるいやつだ

③ 今回は仕方がないが、次からは見せないよ

10. 【資料】「言ってみよう！」

かずゆき君は、まじめで勉強好きな生徒である。昨日出された数学の宿題も昨日のうちにさっさとすませ、先生に出すばかりとなっている。

その宿題をもって登校すると校門で、ひろし君と出会った。

「昨日はみんなで遊んでとても楽しかったよ。かずゆき君もくれば良かったのに。」と、ひろし君が言った。

さらに続けて「ところで、宿題写させてくれる？家に帰ったのが遅くなってしまい、疲れてしまって宿題する時間なんて全然なかったんだ。」とひろし君が言った。

今学期になって、こんなことは、これで5回目だ。かずゆき君は面白くない。

ひろし君はこんなとき以外には、決して親しくなんかしてこないのに。……

